昆布山谷往復書簡

※ 昆布の mixi でのハンドルネーム「ユキチ」を、そのまま表示している。
※ 一部受信中、文字化けがあったが、そのまま表示している。

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 05 日 23 時 44 分
件　名 ： はじめまして

前略

某巨大掲示板でレスをしてる昆布です。

大変失礼とは存じますが、早速、本題に入らせていただきます。
来月の 24 日か 25 日にお伺いして、あの掲示板で騒いでいる内容の事実のいくつかを確認あるいは私の疑問な点を解消したいと存じますが、ご都合はよろしいでしょうか？

いきなりの要望で大変ぶしつけだとは存じますが、ご都合がお悪いか、あるいはなんらかのご不審な点があればご返信いただければ幸いに存じます。

よろしくお願いいたします。

敬具

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 06 日 09 時 44 分

件 名 ： Re: はじめまして

拝復

了解しました。

1 月 24 日（水）は、午後 2 時から午後 5 時の間なら可。
1 月 25 日（木）は、午後 5 時以降なら可です。

一対一でお会いして、あとでいろいろ言われますと小生としては困りますので、もし可能ならサンチャゴ藤原竜也氏にご同席いただいてもよろしいでしょうか？

また、せっかく北海道からお出で頂くわけですが、「２ちゃんれす」で繰り返し宣言しておりますように「CCK-J 決議文」の写しは、その席では開示できません。当方にとって対 CT 法的攻防の「最重要カード」ですので、戦略上、温存しております。ご理解いただければ幸いです。

なお、具体的な日程が決まって来た時点で、身元確認のために本名と住所を開示していただければ大変幸いです。当方の本名と住所は、ブログにて既に開示済みですので、ご参照ください。

神の祝福をお祈り申し上げます。

山谷謹白

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 06 日 13 時 05 分
件　名 ： ご丁寧にご返信ありがとうございます

挨拶抜きで失礼します。

まず、そちらにお伺いする一番の理由は、単なる２ちゃんでの無責任なやり取りとはいえ、山谷氏は現実的に異端・カルト疑惑ということで現実的に圧力を掛けているわけですし、そうである以上はなんらかの明確な根拠があるのだと私には判断することが出来ます。従って、山谷氏が具体的に個人名を提示している以上は、お伺いすれば、CT がカルトであるという明確に判断することができる根拠を提示されるだろうと判断するからです。また、これが一番大きいのですが、昆布が２ちゃん上で騒いでおります、救世軍のカルトの疑惑を解消することが出来るという期待です。とりあえず、具体的な項目は、後ほど提示したいと思いますが、それらがなにひとつ解決できないのであれば、わざわざお伺いしても、お互いの時間の無駄だと思いますし、意味がないでしょう。

結局のところ、大変大きな宗教組織である救世軍の一牧師が、名誉を掛けてカルト糾弾するだけの根拠が個人的に知りたいのです。また、それによって派生した救世軍の疑義は単なる私の勘違いにしか過ぎないのかどうかということを確かめたいのが真意なのだと理解していたければ、幸いです。

もちろん、内容やお会いした後の対応にもよりますが、疑義が解消できれば、個人的にはこの問題にはその後一切関与するつもりはありませんし、いわば関与したくないので、実際にお会いして真偽を確かめたいのだと理解していただければ大変光栄です。

大変お忙しいところはなはだ恐縮ですが、その真意が伝わり、実際の会談ができるだけよい方向に向かうことができれば幸いと存じます。

私の名前と住所は特に隠すつもりはありませんが、基本的には、お会いした時に正式にやりとりしてもなんら問題ないかと考えております。

お忙しいところ、長々と失礼いたしました。

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 06 日 14 時 12 分
件　名 ： 再信します。

たびたび失礼いたします。

それと、日時と場所とメンバーですが、
日時は、24 日午後２時ー５時の３時間以内で了解です。
また、メンバーは、サンチャゴ氏ではなく、23 こと、坂井牧師の同伴にしてください。この疑惑は救世軍の牧師が起こしている疑惑ですし、２ch の掲示板でも一番騒いでいるのは、23 氏です。その意図を是非、知りたいですし、はなはだ手前勝手な要求で大変恐縮ですが、その方が話が早いと思いますし、私の疑義が一番簡単に解消できると思います。

まあ、色々ご事情はあると思いますが、できるだけ有効にお会いできればと存じます。よろしくお願いします。

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 06 日 17 時 44 分
件 名 ： Re: ご丁寧にご返信ありがとうございます

会談の意図、二件あると了解しました。

第一件、小生の「CT 異端カルト疑惑追求」の根拠を明示せよ。

第二件、貴殿の「救世軍カルト疑惑」の疑義を解消せよ。

第一件については、小生はその根拠となる資料、新聞報道、証言等、さらにそれらにもとづく論考を、従来よりブログ上にて明示しておりますゆえ、いまい

ちどそれらをご精読いただければ、何を根拠に小生が「CT 異端カルト疑惑追及」を行っているか、ご理解いただけるものと信じます。

その上で、なお根拠が明らかでないと思われるのであれば、なにをもって根拠が明らかでないとするか、整理しておまとめいただきたい。それについて、小生はいちいち回答することといたしましょう。

第二件については、貴殿はまず（１）何をもってカルトと言うか、ご自分なりの定義を示すのでなければなりません、（２）次に、その定義に照らして救世軍のどの部分がカルトと疑わせるに足るかを示すのでなければなりません、（３）さらに、それに関して資料なり新聞報道なり証言なりといった、一定の根拠をも共に示すのでなければなりません。

（３）については、少なくとも小生がブログで明らかにしている程度の資料、新聞報道、証言をご持参いただきたいものだ。証言については、匿名かつ編集したものでかまいません。

以上をふまえるなら、短い時間でも充実したやりとりが出来るものと信じます。

次に、同席者の件です。

先ほど「２３」と電話にて話しましたが、先方は「ゴキブリ、ウジ虫を相手にする気はない」（原文ママ）から、同席は断る、と怒っておりました。

なぜに腹を立てるのか、と理由を聞くと、大概以下のような返答でした。

（１）昆布、narumi、サロメがネット上で救世軍の諸疑惑を追及するのは一向にかまわないけれども、（２）「クリスチャントゥデイ・カルト疑惑」のスレで煽るのは、完全なスレ違いであり、（３）従来何度となく「救世軍叩きなら他のスレでやってくれ」とそれ専用のスレへの誘導を試みて来たにもかかわらず、（４）ことごとく無視され、執拗なる煽り行為を続けられ、（５）それによって２３個人の「CT 異端カルト疑惑追求」が大いに妨げられたゆえに、腹を立てて

いる、ということでありました。

そうして、２３が申したことは、昆布ならびに「悪意の第三者」が、CT スレから退去して、救世軍叩き専用スレでの煽り行為に完全移行するのであれば、昆布氏と会って話すことはやぶさかでない、とのことでした。

以上、申し伝えました。

なお、同席者については、２３が来れないことが明らかとなりましたので、サンチャゴ氏について再考をお願いできれば幸いです。

また、そちら側の同席者については、当方は「CT もしくはその連結グループ関係者」は絶対にお断りいたしますので、あらかじめご了解くだされば幸いです。

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 08 日 12 時 41 分
件　名 ： 返信が遅れて申し訳ありませんでした。

いつもは、ご存知の様に暇な身なのですが、さすがに年末だと余計なつきあいが重なり返信する時間がとれませんでした。
大変、失礼いたしました。

23 氏同席不可能の件につきましては、ご本人様から直接ｱﾂｲｗメッセージをいただきましたので、ご事情了解いたしました。距離的な問題も大きいだろうと思いますし、なにぶん、誤解に基づくものも大きいとは思いますが、あの巨大掲示板のことですゆえ当然のことだろうと思っております。それでも、愛光園の資料の手配をしていただいた 23 氏につきましては、本当に深く感謝いたします。

ところで、なによりも、山谷氏のご質問の件について私が答えるのが先だと思いますので、早速、本題に入らさせていただきます。

まず、私のカルトの定義ですが、細かい信条的なことは別にして、私は単純に考えています。件の宗教組織が継続的・構造的に意志を持って犯罪を犯しているかどうかであると。つまりは、その組織が反社会的な活動を容認してるということです。

もちろん、組織というのは多かれ少なかれ反社会的な場合も多いですから、この定義では広すぎて現実的に妥当ではないと考えられるかもしれませんが、とりあえず、それで構わないと思っています。なぜなら、多くの組織は宗教組織も含めてカルト的な要素は含むのが実際でありますし、たとえ企業であっても、偽装表示の事件で見られるようにカルトと酷似してるからです。また、その場合の宗教の定義も「反証可能性のないのが宗教だ」と、私はかなり広い概念で考えておりますので、様々な組織が該当するだろうと考えております。ある意味、利益至上主義で人権無視の企業も私はカルト宗教に該当する場合もあるだろうと考えております。

長くなりそうですので、とりあえず、一旦切ります。

山谷→ユキチ
日 付 : 2007 年 12 月 08 日 16 時 45 分
件 名 : Re: 返信が遅れて申し訳ありませんでした。

カルトについての定義、お聞かせくださり、ありがとうございました。

定義１「カルトとは、反社会的な活動を容認し、継続的・構造的に意志を持って犯罪を犯している宗教組織である」

定義２「宗教組織とは、反証可能性のない諸命題に依拠した世界観を信奉する組織である」

。。。上記の定義でよろしいでしょうか。

定義１の「犯罪」とは「国家の公法に違反する罪」という理解でよろしいでしょうか？　この場合、非成文の慣習法への違反は含まれないことになります。

なお、同席者の件ですが、サンチャゴ氏は日程が合えば出席する、ということで、大筋了解されました。また、２ちゃんねらーの「ゆっきー」氏も同席の意向を示しておられます。

この件、ご検討いただければ幸いです。

山谷拝

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 08 日 17 時 20 分
件　名 ： 同席のメンバーの件につきまして

まず、先に、カルト定義の質問について解答します。
もちろん、犯罪とは法律の侵犯に対する犯罪のことで、慣習法は考えておりません。信教・思想は自由ですから、秋刀魚だろが鰯だろうが、人が信じるものを邪魔することは誰にも出来ませんので、それを犯罪だとは思いません。逆に、それを邪魔する方が犯罪になりますから。
従って、カルト定義は広すぎる概念になり、不都合が生じる可能性があるとは思いますが、とりあえず、現実的にはその方がわかりやすいので、そう考えております。

さて、同席者の件についてですが、まず、この会談の目的は、疑惑の意図に関する疑問解消と誤解があればその解決ですから、同席する方もそれぞれの立場を明確にしないことには、ただ、同席するだけでは意味がないと思います。

その点、２ちゃんでご活躍が激しい 23 氏は私にとっては大きな疑問符がありますから、是非、ご同席いただければと思いましたが、短時間の間にその議論は非常に難しいと思いましたので、23 氏の意見は非常に納得行くものがありましたので、同席拒否は非常にわかりやすいし、同意いたしました。

そう考えると、正直なところ、サンチャゴ氏もゆっき一氏（私には誰なのか良くわかりませんが)、この会談では、まったく無関係のように感じます。

そもそも、サンチャゴ氏は私との会話を一方的に拒否した身ですので、この会談にのこのこ顔を出すこと自体がもしかすると彼自身のポリシーから反するのではないのでしょうか？私には、疑問に関する事、数多です。

また、ゆっき一氏もなにを目的に同席されるのでしょうか？

とりあえず、メンバーよりも会談の議論の焦点を明らかにした方がよさそうな気がします。そうすれば、自ずと会談の同席者も明確になるのでしょうし、もしかすると会談そのものも、必要なくなるかもしれません。

大変、手前勝手で、わがままなことを主張して心苦しいばかりですが、無駄な時間を費やすよりも、その方が良い方向に向かうような気がします。

会談の目的の詳細については、後ほど再度メッセージ致します。
間延びして大変申し訳ありませんが、よろしくお願いします。

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 08 日 20 時 25 分
件 名 ： Re: 同席のメンバーの件につきまして

明確な違法行為のみがカルトとみなされる要件、ということですね？

そうしますと、「違法ではないが社会通念上不適切な行為」というようなものは、カルトの要件には入らない、ということになりましょうか？

次に、同席者の件です。

まず、サンチャゴ氏もゆっきー氏も共に「２ちゃんねらー」です。
さらに、２ちゃんでの CT 疑惑「初代スレ」からの関係者です。
加えて、貴殿がいわゆる「山谷側」と称する言葉でひとくくりにしている者たち、すなわち、CT への懐疑を抱く立場で書き込みをしている者たちです。そうした立場の者たちを、貴殿はこれまで「救世軍側」というように表現もして来られましたね？

また、会社法に関する不明を詫びて貴殿が２ちゃん当該スレから退去された後、再び貴殿がカミングバックする直接的な機会を作ったのは、サンチャゴ氏だと聞いて居ります。

それゆえ、両氏が貴殿との会談にご同席くださるのは、小生としては「全然筋違いではない」と考えて居ります。

むしろ、貴殿と同じ「２ちゃんねらー」の立場である両氏が、なぜ貴殿とは異なって、＜山谷側に加担していると見られても仕方がないような書き込み＞をこれまで続けて来られたのか、両氏から話しを聞くことで、貴殿がこれまで思い至られなかった視点に気づかれることもあろうか、と信じます。

山谷謹白

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 09 日 10 時 45 分
件　名 ： Re: 同席のメンバーの件につきまして

> 明確な違法行為のみがカルトとみなされる要件、ということですね？

その通りです。

> そうしますと、「違法ではないが社会通念上不適切な行為」というようなものは、カルトの要件には入らない、ということになりましょうか？

社会通念上だけでは、犯罪にはならないのは当然だと思います。
あくびやおならが失礼な行為であったとしても、それで、軽犯罪に該当するのは日本の法律にはありません。従って犯罪にはなりませんし、当然、カルトにはなりえません。ただし、犯罪を肯定する思想は、カルト思想だとは思いますが。

> 次に、同席者の件です。
>
> まず、サンチャゴ氏もゆっき一氏も共に「２ちゃんねらー」です。

２ちゃんねらーであることが、CT のカルト糾弾になんの意味があるのでしょうか？というか、２チャンネルで放言することがなんの意義があるのでしょう？
私からすれば、2 ちゃんねるなんて、単なる無責任で馬鹿の集まりですし、あそこで騒ぐことが、実際に CT がカルトであるすればするほどなんの意味があるのか疑問に思います。
そもそも、それだからこそ、山谷氏はあそこで発言されてないのではないですか？
従って、単なる２チャンネルの場を移動させることは、非常に個人的には笑えますし、時間の無駄にしか過ぎないと思います。
無意味です。

> 加えて、貴殿がいわゆる「山谷側」と称する言葉でひとくくりにしている者たち、すなわち、CT への懐疑を抱く立場で書き込みをしている者たちです。そうした立場の者たちを、貴殿はこれまで「救世軍側」というように表現もして来られましたね？

CT への懐疑だけで言えば、私も懐疑者の一人です。
しかし、それとカルトとはまったく結びつきません。
是非、根拠が知りたいですね。CT の何がカルトなのか？
異端であるとしても、それがどんな犯罪行為を行っているのでしょう？是非、明確にすべきです。
従って、「救世軍」と名乗ってまで、リスクを犯すほどの根拠を是非、明確にしていただきたいし、証拠を見せていただきたいと思いますね。その意味で私にとっては、「救世軍側」です。

> また、会社法に関する不明を詫びて貴殿が２ちゃん当該スレから退去された後、再び貴殿がカミングバックする直接的な機会を作ったのは、サンチャゴ氏だと聞いて居ります。

その件に関しては、まったくの勘違いで、お笑いだと思ってます。
私が引き下がったのは、あそこで騒いでいる連中が、会社法をまったく知らないから、謝罪したのであり、無知を相手にしても仕方がないと思っているから謝罪しただけのことです。
そもそも、サンチャゴ氏は、自分の会社の財務諸表も不明な経営者です。あなた方が、会社法を知っていると主張されるのであれば、まず決算公告してる会社が、未上場会社の現在何割あるのかお答え下さい。そして、その上で、決算公告してないことが、カルトとなんの関係があるのか説明してください。そして、救世軍のすべての関連会社が決算公告をしてるということの証を見せてください。まず、その現実について、是非、お答えいただきたい。私が引き下がったのは、その事実も法律もあまりに無知なので、正直、そのマヌケさに呆れて、レスするのをやめただけのことです。馬鹿と関わっても仕方がないし、時間の無駄ですから。

従って、逆です(笑

> むしろ、貴殿と同じ「２ちゃんねらー」の立場である両氏が、なぜ貴殿とは異なって、＜山谷側に加担していると見られても仕方がないような書き込み＞

をこれまで続けて来られたのか、両氏から話しを聞くことで、貴殿がこれまで思い至られなかった視点に気づかれることもあろうか、と信じます。

ということで、なにが違う視点なのか、まったく意味不明です。
彼らが、現実と法律に無知なままに、あそこでアホ馬鹿の言い合いをしているのであれば、まったく、意味をなさないのです。とりあえず、その点について、コメントしていただけないことには、現実に会談を設けることになんの意味もありません。

とりあえず、山谷氏がそうではないと私は思ってるので、実際に会談しようと思っているのです。その意味するところを是非、お察し下さい。

よろしくお願いします。

山谷→ユキチ
日 付 : 2007 年 12 月 10 日 17 時 57 分
件 名 : Re: 同席のメンバーの件につきまして

返信感謝いたします。

大略以下のように当方は理解しました。

１．貴殿の「カルトの定義」と当方の「カルトの定義」に相違があるため、貴殿にとってカルトでないものが当方にとってカルトとなること。

２．貴殿は「CT 異端カルト問題追及について２ちゃんねるが果たした意義はゼロである」と考えるのに対して、当方は「CT 異端カルト問題追及について２ちゃんねるが果たした意義が相当程度ある」と考えていること。

３．貴殿は「２ちゃんねるでの発言は何人も責任を問われない」と考えるのに

対して、当方は「２ちゃんねるでの発言は何人も相当程度の責任を問われる」と考えていること。

４．貴殿は「CT 異端カルト問題には実名で追及するリスクをかけるほどの重要性はない」と考えるのに対して、当方は「CT 異端カルト問題には実名で追及するリスクをかけるほどの重要性がある」と考えていること。

５．貴殿は「CT は高柳山谷会談での唐沢治氏の要請に応えて財務諸表を提出する必要はない」と考えるのに対して、当方は「CT は高柳山谷会談での唐沢治氏の要請に応えて財務諸表を提出する必要がある」と考えていること。

６．貴殿は「２ちゃんねらーは今回の件に接してすべからく自分と同じ見解を抱くようになるのが当然である」と考えるのに対して、当方は「２ちゃんねらーは今回の件に接して貴殿とは異なる見解を抱くようになるのが当然である」と考えていること。

７．貴殿は「サンチャゴ氏およびゆっきー氏は同席者として不適当」と考えるのに対して、当方は「サンチャゴ氏およびゆっきー氏は同席者として適当」と考えていること。

以上。

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 10 日 18 時 08 分
件 名 ： Re: 同席のメンバーの件につきまして

前信にて示した、貴殿と当方の七点のくい違いを踏まえた上で、当方の所見を次のように回答いたします。

（１）当方は、当方の「カルトの定義」が妥当であると考えて居り、この定義

に照らしてCTをカルトと推定することについて、当方の考えを変更する理由が現時点で特に見当たりません。かつ、CT側は当方の「カルトの定義」を2002年以来熟知して居り、当方がいかなる意味内容にてCTをカルトと推定しているかについて、当然CTは理解しているはずであります。(異見書参照)

(2)当方は2006年10月にCTより「裁判に訴える」との威嚇を繰り返し受け、かつ同時期にサーバー攻撃、不審人物のつきまとい、不審車両の駐車、器物の損壊など、従来未経験の出来事が集中的に発生したため、最悪の事態を予想して、ブログのCT関連記事の全削除を決定しました。これにより、当方のブログでのCT異端カルト疑惑の追及は途絶しましたが、その直後、不明者が2ちゃんねるにCT疑惑スレ初代を立て、議論を開始しました。CT側は、この2ちゃんねるでの議論を問題視して、当方に対して「2ちゃんねるへの書き込みを中止しなければ、裁判に提訴する」と繰り返し威嚇を行い、当方仲介人を訪問して訴状の下書きを提示しました。さらにCT側は「高柳山谷会談」の開催を当方仲介人に対して要請しました。本年 1 月に開催された「高柳山谷会談」において、当方が抱く疑惑が解消されない結果となったため、双方の事前の了解に従って、当方はブログ上でのCT疑惑の追及を公然と継続できるようになりましたが、にもかかわらず、CTはこの了解に反して、当方に対して1000万円の損害賠償請求を裁判所に申し立てました。これに対して当方は「CT は2ちゃんねるにて当方への誹謗中傷の書き込みを行っている」との反論を「異見書」にて展開しました。この異見書を受けて、裁判所は「調停不成立」を宣言し、爾後今日に至る迄、CTは裁判を提訴していません。以上の経緯を考えるなら、当方は「CT異端カルト問題追及について2ちゃんねるが果たした意義が相当程度ある」と考えることになります。

(3)CTは2ちゃんねるへのCT懐疑派の立場の書き込みが、すべて当方の責任であるという見解に立って、昨年末に当方を裁判に提訴する訴状の下書きを当方仲介人に提示しました。よって、貴殿の見解とは異なり、CT は2ちゃんねるでの発言について、すべて当方に責任を問う、という立場であります。また、当方はCTを反訴する立場から、同様にして2ちゃんねるでの発言の相当部分についてCTに責任を問う、という立場であります。

（４）当方が実名にてCT異端カルト疑惑を追及を行っているのは、この問題が当方及び所属教団並びに日本キリスト教界の利害に直接関係しているからです。すなわち、当方は被害者家族及び脱会者から寄せられた証言及び資料に基づいて、CT が正統的キリスト教と相容れない異端的教説を奉じる組織であり、かつその運営においてカルト的手法が用いられていることを、認識しました。そうして、当方及び所属教団及び日本キリスト教界は、それが有する情報及び資源等を CT に許可無く使用されることによって、結果的に CT の勢力拡張の目標を助長する構図となっておりました。これは、キリスト教界にとって相当に危機的な状況であり、このような状況を打開するためには、当方は実名でCT異端カルト疑惑を追及することに伴うあらゆるリスクを引き受ける覚悟で居ります。

（５）高柳山谷会談は、CT 側から「疑惑をすべて解く」との申し入れで開催されたものであり、当方側同席者の唐沢治氏は「財務諸表を開示できるのであれば、普通の会社とみなすことができる」との立場から、開示請求を高柳氏に対して口頭で行いました。しかし、結果的にCT側はこれに応じませんでした。そもそもの会談開催の目的や、CTが会社法に根拠した株式会社であること、CTが疑惑を解きたいと願う立場であることを考慮すれば、CT が唐沢氏の求めに応じなかったのである以上、唐沢氏が「クエスチョンマーク」を抱き続けることは、いたしかたのないことと考えます。

（６）今回の推移を通して、貴殿と異なる見解を持つに至った２ちゃんねらーが、当方の確認する限り五人居ります。それゆえ、同じ２ちゃんねるでの推移を目にして万人が貴殿と同じ見解に至るわけではないということは、ご理解いただけると思います。その上で、なぜ彼らが貴殿と異なる見解に至ったか、その理由を聞くことは、貴殿にとって全然意味のないことではなかろう、と考えます。

（７）当方が住所氏名年齢職業電話番号メールアドレス顔写真履歴等すべて開示しているのに対して、貴殿は一切開示して居られません。それゆえ、貴殿がCT関係者もしくはCTの意を受けた工作者であるとの可能性を、当方は完全排除しているわけではありません。その上で、当方は一定の安全保障上の理由から、同席者が絶対に必要であると考えて居り、かつ、今回の事態の経緯を鑑みたと

きに、サンチャゴ氏及びゆっきー氏が同席者として最適任者であると考えて居る次第です。

以上。

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 11 日 09 時 20 分
件　名 ： CT の件についてはひとまず置きまして・・・・

実名と同席者に関する件について私の考えをコメントします。

まず、実名にて CT 批判してるのは、山谷氏本人であって、そのリスクは最初から覚悟の上でしょうから、私が実際にお会いするというだけで私が実名にする必要はまったくないと私は考えています。けれども、実名でなければ会わないというのは、それとは関係なく、当然の話だと私は思います。私が考えるのは、お互いに身分を明かして、誠意のある、実りのある会談にするために実名する必要があるだろうと思ってますし、そうでなければ実際にお会いする必要はないというものです。その点では、少し見解は違ってるように思います。ある意味、会談が２ちゃんの掲示板と同じ茶番にならないとも限らない恐れがあるのではと危惧しています。そもそも、サンチャゴやゆっきーがボディーガードである理由がまったく根拠不明です。単に、会談をかき回すだけなら、存在する必要がないのではないでしょうか？
いわば、その二人が一切言葉を発せず山谷氏を肉体的に守る以外に一切動かず会談の邪魔をしないという保障があるのなら、私はボディーガードとしての立会いになんら反対しませんし、人間の形を犬だと思いますので、別に反対する理由もないでしょう。逆に言えば、立ち会う以上は、なんらかの意志と責任を以って発言される方が同席されるのを私は望んでいるということです。いかがでしょう？

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 11 日 10 時 07 分
件　名 ： カルトの件につきましてコメントします。

CT をカルトと断定することについて疑義することをコメントします。

CT の決算公告につきましては、なんども言及しましたので、簡単に列挙します。

□決算公告をしてる株式会社がほとんどない以上、してない事実をもってカルトと断定、あるいはネットで騒ぐのは、あまりに非常識で茶番でお粗末。
□財務諸表は企業にとっては最高機密に属することである以上、約束していながらそれを見せないのは誠意は見られないだけのことであり、それをもってカルトと断定するのはあまりに非常識。
□仮に決算公告していても、それでカルトの証拠とすることに関する理屈ががあまりに暴力的で幼稚。

また、その他 CT のカルト疑惑に関する疑義についても以下に列挙します。

□給与不払なのか無賃労働なのか不明。
□その要求を労働者が起こしているのか不明。
□脱会者（CT 退職者？）が実際に存在しているのか曖昧。
□CT の登記簿謄本を取得しないことの理由が不明。
□実際のカルト集団に対してこれだけ長時間騒ぎながら、CT に何も起こらないことが不明。
□介入した牧師のコメントがないのが不条理。
□また、山谷氏がその牧師と連絡を取らないのも不条理。
□脱会者の消費者金融からの借金の明細がないのも不条理。
□脱カルト協会がついていながら、脱会者とのトラブルが起きてるのが不審。

以上です。

また、カルトの定義につきましては、私のカルトの定義に問題がなければそれでよろしいと思います。

山谷→ユキチ
日 付 : 2007 年 12 月 11 日 16 時 06 分
件 名 : Re: CT の件についてはひとまず置きまして・・・・

２ちゃんねらーが「板」の問題でリアルに会って話しをする。
その席に、同じ板の２ちゃんねらーが同席する。

ぜんぜん難しい話ではないと思いますが？

貴殿は２ちゃんねらーであり、小生も「にちゃんれす」を通して間接的に２ちゃんねらーであり、サンチャゴ氏やゆっきー氏は、ばりばりの二ちゃんねらーです。

山谷

ユキチ→山谷
日　付 : 2007 年 12 月 11 日 16 時 16 分
件　名 : Re: CT の件についてはひとまず置きまして・・・・

要は、オフ怪ですか？

そんなことをするために、救世軍にお伺いするつもりはありません。
私は、２チャンネル上で展開されているどうしようもない茶番劇が一般常識のある立場の方が、実は真剣に考えてやっているのだという確証がほしかったのです。

勘違いなのでしょうか？

いわゆる実名でやってる訴訟ごっこというものなのでしょうか・・・・・

そんなことをするために実名さらす気はもちろんありませんが？

正直、ホントに困ってしまいました。。。。

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 11 日 16 時 21 分
件 名 ： Re: カルトの件につきましてコメントします。

順序としまして、まず、CT 異端カルト疑惑を推定するに足る相当数の証拠資料及び証言が前提として存在しております。その上で、当方は CT の会社登記簿謄本の写しを入手しております。

そうして、会社登記簿には「決算広告を年一回官報に掲載」とあります。
また、菅野真理子氏が監査役に重任されている旨、登記されています。

昨年 12 月末､CT 側は｢かけられている異端カルト疑惑をこの会談で晴らしたい」との意図で「高柳山谷会談」の開催を、｢訴状の下書きを見せながら」提示しました。

そこで、今年 1 月、当方は同席者を得て、会談開催に応じたわけです。

その同席者のうちの一名が、｢疑惑を解くということのひとつとして、株式会社法人であるのだから、当然財務諸表を作っているはずであり、それらを見せていただけるのであれば、疑惑の解消につながる」という立場から、CT 代表取締役に対して、財務諸表の提出を要請したわけです。

これに対してCT代表取締役は会議の席上にて諒承しました。

しかし、その後、財務諸表は公表されていない、ということです。また、当方の調査の結果、官報にも決算広告が掲載されていないことが判明しました。

当方は、「CTが財務諸表を開示しないからカルトだ」と推定しているのではありません。多くの資料及び証言に基づいてCTを異端カルトと推定しているのであり、それに対して、CTが疑惑を晴らしたいと会談を持ちかけて来たので、当方同席者が「疑惑を解明する一助」として財務諸表の開示を先方に要請し、先方は一旦はこれに応じたが、結果としては、財務諸表がいまだ開示されてはいない、ということです。

消費者金融からの借金の明細については、ご両親が消費者金融会社に照会しましたが、「個人情報保護」を理由に、会社側は明細を明らかにしませんでした。

脱会者証言では、「多くのメンバーがローンを抱えていたが、自分はしていなかった」と述べています。ただし、無賃金労働の事実については証言しています。無賃金労働を裁判に提訴する決意を固めている脱会者は、いまのところおりません。

菅野真理子監査役は、現役メンバーであり、連絡を取る方法が現時点ではありません。

以上、疑問の解消につながれば幸いです。

山谷拝

山谷→ユキチ
日 付 : 2007年12月11日 16時23分

件 名 ： Re: CT の件についてはひとまず置きまして・・・・

当方の貴殿に対する認識は「純然たる２ちゃんねらー」というものです。

貴殿は、２ちゃんねらーではないのですか？

山谷拝

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 11 日 16 時 32 分
件　名 ： Re: CT の件についてはひとまず置きまして・・・・

当然、その定義をしていただければ、質問に解答できると思います。

そして、再度確認しますが、その中に山谷氏も入るわけですよね？

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 11 日 16 時 40 分
件 名 ： Re: CT の件についてはひとまず置きまして・・・・

小生は、「２ちゃんねるにてしばしば言及される人物」として、また「２ちゃんれすにて間接レスをリアルタイムで行っている人物」として、「広義の２ちゃんねらー」の範疇に入るであろうと考えます。

貴殿とサロメ氏が「山谷を直接訪問して証拠の開示要求を行う」と宣言されたのは、２ちゃんねる上でありました。それに対して当方が、「開示は警察・検察・刑事裁判・民事裁判の四つ対してのみ行う」とレスしたのは「２ちゃんれす上」でありました。

それでもなお貴殿らが、当方への直接訪問を宣言されたのは、これまた２ちゃんねる上でありました。これに対して、「来てもお茶二杯差し上げて、こっちの口上を述べた後、すぐ帰ってもらうだけだ」と当方が再レスしたのは、これまた「２ちゃんれす上」でのことでありました。

以上の経緯を考えるなら、すべて事態は広義の「２ちゃんねる内」で進行して来た、ということになりましょう。

山谷拝

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 11 日 16 時 49 分
件　名 ： Re: カルトの件につきましてコメントします。

> 順序としまして、まず、CT 異端カルト疑惑を推定するに足る相当数の証拠資料及び証言が前提として存在しております。

それは、宗教的な異端というものですね。
私が知りたいのは社会的な犯罪の事実です。

>その上で、当方はCT の会社登記簿謄本の写しを入手しております。
> そうして、会社登記簿には「決算広告を年一回官報に掲載」とあります。
> また、菅野真理子氏が監査役に重任されている旨、登記されています。

その方は統一協会と関係のある方なのですか？

> 当方は、「CT が財務諸表を開示しないからカルトだ」と推定しているのではありません。多くの資料及び証言に基づいてCT を異端カルトと推定しているのであり、それに対して、CT が疑惑を晴らしたいと会談を持ちかけて来たので、当

方同席者が「疑惑を解明する一助」として財務諸表の開示を先方に要請し、先方は一旦はこれに応じたが、結果としては、財務諸表がいまだ開示されてはいない、ということです。

それは、テープで聞きましたし、非常に誠意のない対応だと私も同意します。
しかし、それを以ってなぜ、カルトと推量できるのでしょう？
私がお聞きしてるのは、その根拠です。

> 消費者金融からの借金の明細については、ご両親が消費者金融会社に照会しましたが、「個人情報保護」を理由に、会社側は明細を明らかにしませんでした。

ということは、それは借金疑惑であって、証拠は無いのですね。
また、その借金の資金使途も証拠はありませんね。

> 脱会者証言では、「多くのメンバーがローンを抱えていたが、自分はしていなかった」と述べています。ただし、無賃金労働の事実については証言しています。無賃金労働を裁判に提訴する決意を固めている脱会者は、いまのところおりません。

了解です。
それについても、疑惑でしかないのですね。
というか、証拠などはないのですか？
例えば、出金した記録を脱会者の個人的な手帳やメモにも残っていないのでしょうか？

> 菅野真理子監査役は、現役メンバーであり、連絡を取る方法が現時点ではありません。

他に出資者や発起人等で、統一教関連に関係のある方はいらっしゃらないのでしょうか？
もし、いらっしゃれば、決定的な証拠になると思うのですけど・・・・

ちなみに、その時の登記住所はどこなのですか？

> 以上、疑問の解消につながれば幸いです。

かなりつながっております。
ありがとうございます。

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 11 日 16 時 58 分
件　名 ： Re: CT の件についてはひとまず置きまして・・・・

つまり、２ちゃんねらーとは、２チャンネルの掲示板とそれに関連した書き込みを行う者という定義ですか？

また、その書き込みの内容は、まったく根拠の無い無責任にしか過ぎないものであるし、いわば、他人の名誉を害する井戸端会議的なレベルのものにしか過ぎないものであること。また、それらをあえて行う人間は、かなり悪意のあるものと自分も含めて認識しておりますが、それでよろしいのでしょうか？

ただし、例外的に、たまに真実があるかもしれないので、暇だったら注意した方がいいぐらいのことでしょうか？
しかし、100%誠意のない、単なる相手の名誉毀損を目的とした書き込みであるという認識ですが、違います？

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 11 日 17 時 17 分
件 名 ： Re: CT の件についてはひとまず置きまして・・・・

当方のCT異端カルト疑惑追求は、あくまでブログが中心であります。

そのブログが、昨年10月に、CTからの告訴の威嚇と不審事案の頻発を理由として、削除される事態となりました。

この事態を受けて、不明者が「CT疑惑スレ初代」を２ちゃんねるに立てました。一方、有志数名が義勇軍ブログ「Mystery of This Age」と「Tondemo Archives」と「銀の笛」を開設し、CT疑惑の根拠となる資料をネット上にて提示しました。

しかし、サーバー攻撃等が頻発したため、義勇軍ブログも削除される事態となり、前後して、それら義勇軍ブログ掲載情報が、２ちゃんねるへ転載されるようになりました。サンチャゴ氏及びゆっき一氏は、この頃からすでに事態の推移を見て来ております。

これに対してCT側は、「２ちゃんねる転載の責任はすべて山谷にある」として、訴状の下書きをもって当方仲介人を数回訪問し、直接会談の開催を要求しました。

つまり、CT側が「２ちゃんねるへの書き込みに対して山谷は全面的に法的な責任を負う」と言明したために、今回の一連の動きの中で、２ちゃんねるが決定的に重要な位置づけを有するようになった次第です。

当方は、CTが提訴した場合に反訴する方針から、同様にして、「２ちゃんねるでの山谷及び救世軍に対する誹謗中傷の書き込みについてCTは法的責任を負う」との主張を、「異見書」にて展開しました。

この主張を受けて、裁判所は「調停不成立」を宣言しました。

よって、今回の一連の事態の推移の中で、２ちゃんねるは「便所の落書き」「どうでもいいこと」のひとことでは片付けられない一定の重要性を持つ、と当方は考える次第です。

山谷拝

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 11 日 17 時 34 分
件　名 ： Re: CT の件についてはひとまず置きまして・・・・

細かいところまで理解はしておりませんが、大まかな流れは了解しました。

しかし、実際のところ、CT の信者は被害者であり、加害者です。
山谷氏は、何をしたいのか良くわからないのですが？
統一協会だって、今や社会的な中枢部に食い込んでるわけですし、そこのところがまったくわからないのですが？

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 11 日 17 時 43 分
件 名 ： Re: CT の件についてはひとまず置きまして・・・・

> 細かいところまで理解はしておりませんが、大まかな流れは了解しました。
>
> しかし、実際のところ、CT の信者は被害者であり、加害者です。
> 山谷氏は、何をしたいのか良くわからないのですが？
> 統一協会だって、今や社会的な中枢部に食い込んでるわけですし、そこのところがまったくわからないのですが？

第一は、CT の問題性について教界に周知する、ということです。なぜなら、CT は教界中枢に入り込み、その情報部門を占拠する戦略をこれまで進めて来ており、WEA（世界福音同盟）にては、すでに完全に成功しているからです。

第二は、k 氏ご両親より、CT の問題性の追及をネット上にて継続して欲しいとの依頼による、ということです。CT の疑惑を示す情報が教界に広く周知することで、CT としては「教界重要人物のだれそれの推挙を得ているからわれわれは大丈夫だ」との説明を家族に対して行うことができなくなります。

第三は、CT の異端カルト性を認識して問題意識を持っている人たちとの国内外のネットワークを形成することです。現在、日本・韓国・中国・米国のネットワークが出来ております。このネットワークは、「山谷が提示した疑惑によれば」という形で、各国教界に引用発信を行って居ります。これは、裁判対策であり、形式的に山谷を表に立てることによって、各国教界は裁判のリスクを大幅に軽減しつつ、情報発信が可能となっております。

山谷拝

山谷→ユキチ
日 付 : 2007 年 12 月 11 日 17 時 44 分
件 名 : Re: カルトの件につきましてコメントします。

社会的犯罪の証言は「無賃金労働」という複数の脱会者証言になります。

これに関する証拠資料は、残念ながら存在しません。

ユキチ→山谷
日 付 : 2007 年 12 月 11 日 18 時 02 分
件 名 : Re: カルトの件につきましてコメントします。

> 社会的犯罪の証言は「無賃金労働」という複数の脱会者証言になります。
>

> これに関する証拠資料は、残念ながら存在しません。

それが本当に非常に残念なのです。
というか、ハローワークにでも行けば、良かったのですけどね。
訴えさえ起こせれば、それで、証拠になったのですが・・・・・

ユキチ→山谷
日　付 : 2007 年 12 月 11 日 18 時 02 分
件　名 : Re: CT の件についてはひとまず置きまして・・・・

> 第一は、CT の問題性について教界に周知する、ということです。なぜなら、CT は教界中枢に入り込み、その情報部門を占拠する戦略をこれまで進めて来ており、WEA（世界福音同盟）にては、すでに完全に成功しているからです。

統一協会というのは、カルトということは別にして、すでに社会認識されたひとつの宗教団体でしょう？
もはや、統一協会は、創価学会等が霞ヶ関の中枢まで巣食っているように除去することは不可能ですよ。
というか、今更、CT が統一協会なのでカルトだというメッセージはなんの意味もないと思うのですが？
結局､CT の社会的な犯罪を明かさない限り､CT の危険性や統一協会の危険性は、まったくわからないような気がします。

うーん・・・・

> 第二は、k 氏ご両親より、CT の問題性の追及をネット上にて継続して欲しいとの依頼による、ということです。CT の疑惑を示す情報が教界に広く周知することで、CT としては「教界重要人物のだれそれの推挙を得ているからわれわれは大丈夫だ」との説明を家族に対して行うことができなくなります。

良くわからないのは、その両親ですね。
山谷氏に出すものも出さずに、なんで、依頼だけするのでしょう？
また、息子は相変わらず、CT と関係があるのですよね。
なんか、無責任すぎで、なにを考えているのか、さっぱりわからないのですが？

> 第三は、CT の異端カルト性を認識して問題意識を持っている人たちとの国内外のネットワークを形成することです。現在、日本・韓国・中国・米国のネットワークが出来ております。このネットワークは、「山谷が提示した疑惑によれば」という形で、各国教界に引用発信を行って居ります。これは、裁判対策であり、形式的に山谷を表に立てることによって、各国教界は裁判のリスクを大幅に軽減しつつ、情報発信が可能となっております。
>
> 山谷拝

なんども、いいますように、それはそれでいいのですが、統一協会も結局はカルトのひとつでしかないでしょう。カルトによるカルト叩きのひとつでしかないのでは？

茶化すつもりはまったく無いのですが、結局、２チャンで騒ぐレベルの話として理解できるので、正直、拍子抜けしてしまいました・・・

うーん・・・・

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 11 日 18 時 43 分
件 名 ： Re: CT の件についてはひとまず置きまして・・・・

問題は、CT が WEA（世界福音同盟）の IT 部門を完全に占拠してしまっていることです。

その上で、WEA は各国の福音同盟に「WEA と同じ IT システムを導入するように」と奨励を行っています。これは、WEA のみならず各国の福音同盟が CT にサーバー管理を委託する、ということを意味します。

サーバー管理を委託する、ということは、ネット上の情報を 100 パーセント掌握されてしまうということです。実際、ダビデ張はある韓国人牧師に対して「われわれはインターネットを完全に支配する力を持っている。だから、われわれに協力しなさい」と恫喝めいた発言を行ったことがあります。

日本では、「パワーフォーリビング」のサーバー管理を CT が受注していました。マインドコントロールの専門家の苫米地教授が、今年の 1 月にパワーフォーリビングについて批判的記事をブログに書いたところ、苫米地教授を誹謗中傷する怪文書が霞ヶ関の各官庁に送りつけられる、という「怪事件」が発生しました。小生は、おそらくこれは CT 関係者が送ったものであろう、と睨んでおります。

山谷拝

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 12 日 00 時 36 分
件　名 ： Re: CT の件についてはひとまず置きまして・・・・

問題は、その根拠を示すことなのですが、なにかあるのでしょうか？

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 12 日 08 時 55 分
件 名 ： Re: CT の件についてはひとまず置きまして・・・・

ダビデ張は、彼の関連企業が全額出資するかたちで、「IT センター」をオリヴェット大学の構内に開設し、これをスタッフ付で WEA に寄贈しました。この功績で、彼は WEA の北米地域理事に就任しました。

現在、WEA のホームページは、この「IT センター」が製作管理を行っています。

また、ダビデ張は自分の配下の者たちを、WEA の寄付金担当者や事務長などの要職につけることに成功しています。

WEA のホームページには、「ダビデ張が北米地域理事に就任した」とか「タニクリフ総主事がオリヴェット大学でダビデ張から名誉博士号を授与された」などのニュースが掲載されています。

WEA の北米地域理事の去就とかその動向が、WEA のニュースレターやサイトで報じられた前例は全くありませんので、この事実をもって、ダビデ張が「IT センター」を都合良く用いていることが判ります。

小生は、WEA に対して、ダビデ張の北米地域理事就任過程について情報開示を請求したことがありますが、残念ながら、ダビデ張の配下である「事務長」の段階で止められてしまいました。

ダビデ張から「われわれはインターネットを支配する力を持っている。だから、われわれに協力しなさい」と迫られた、という韓国人牧師の証言については、小生を含む十数名が聞いて居ります。

CT がパワーフォーリビングのサーバー管理を日本で受注していたことは、パワーフォーリビングの日本側窓口（牧師）の関係者から聞いております。

同じく CT がサーバー管理を受注している GMA 日本という音楽宣教団体の代表者が「CT 問題情報交換会」に出席した際には、事前に電子メールでやりとりをしましたが、交換会終了後、CT 側から「情報交換会の内容はすべてわかっている」というような示唆が与えられたことがあります。

パワーフォーリビングを批判した苫米地教授を誹謗中傷する怪文書が霞ヶ関の官庁に送りつけられた、というのは、苫米地教授がブログで公言しております。

CT がらみの怪文書の回覧については、CT を批判した小生を誹謗中傷する怪文書が CCK-J(在日韓国基督教総連合会)の加盟各教会に回覧されたことがあります。

別件ですが、キリスト教連合機関のサイトに、北朝鮮人道支援の記事が翻訳掲載された際、CT がその記事を批判するかたちで転載し、その前後から、記事の翻訳者に対して不審な若者たちがつきまとい行為を開始して、パニックに陥った翻訳者が東京から実家へ退去する事案がありました。この翻訳者は、過去にある病院に対して統一教会が浸透工作をはかった際に、反対運動の第一線に立って戦った人物であり、その当時、統一教会関係者と目される不審人物につきまとわれた経験があります。

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 13 日 00 時 33 分
件　名 ： CT がカルトであるという証拠はないのでしょうか？

つまり、WEA がカルトであると救世軍は判断しているということでよろしいのですか？

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 13 日 00 時 49 分
件　名 ： 救世軍がカルトの件です

救世軍がカルトであると考えられる以下の件について、是非、解答していただけるようによろしくお願いします。

□養護施設における性的虐待の事実の有無
□その事実報告が救世軍から何ひとつないことに関しての理由
□克己週間の献金額が発表されているのに社会鍋について発表しないこと。
□また献金額に関するその収支発表がなされていないこと。
□士官以上の婚姻の自由と信教の自由を侵している点
□個人情報を晒すという脅迫を２チャン上で救世軍の牧師の立場の人間が繰り返している点。
□同様にCTと思われる書き込みに対して、脅迫を繰り返している点。
□山谷氏が２ちゃん上で書き込みしない点

性的虐待をスキンシップを誤解したものである解答している点について、その根拠について。

とりあえず以上について、明確に解答願えればと存じます。

また、当日お伺いした時のために細かい収支決算書も提供していただければと思いますので、その時のための準備項目は後ほど書き込みさせていただきます。

お忙しい中お手数だとは存じますが、よろしくお願いいたします。

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007年12月13日 14時37分
件 名 ： Re: CTがカルトであるという証拠はないのでしょうか？

> つまり、WEAがカルトであると救世軍は判断しているということでよろしいのですか？

いえいえ。ダビデ張の異端カルト疑惑は、山谷個人の追及である、というのが、小生及び所属教団の「公式見解」です。

この問題に関して、現時点で、宗教法人救世軍が何かの判断をする、ということは、ありません。

さて、小生の個人的な判断から言えば、現状は、「WEA の情報中枢が異端カルトにより占拠されており、危機的情況にある」ということです。

そのような危機感があればこそ、小生は、こうしてブログ等で書いているわけです。

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 13 日 17 時 03 分
件 名 ： Re: 救世軍がカルトの件です

「救世軍はカルトである」との貴殿の懸念。お聞かせくださり、感謝いたします。

さて、ここで、貴殿の「カルトの定義」に立ち返ってみましょう。それは以下の通りでありました。

定義１「カルトとは、反社会的な活動を容認し、継続的・構造的に意志を持って犯罪を犯している宗教組織である」

定義２「宗教組織とは、反証可能性のない諸命題に依拠した世界観を信奉する組織である」

上記に照らせば、救世軍は「三位一体の神、無からの創造、人類の堕罪、イエスキリストの受肉、奇跡、贖罪死、復活、昇天、再臨」という、いずれも反証可能性のない命題に依拠した世界観を信奉しているわけですから、当然「宗教組織」ということになります。これについては、救世軍を歴史上初めて宗教組

織と認定した「英国軍会議」や「米陸軍法務部総局」の見解、さらに、わが国にて救世軍に宗教法人格を付与した文部省（現文部科学省）の認定と、全然齟齬がありません。

その上で、救世軍が「反社会的な活動を容認し、継続的・構造的に意志を持って犯罪を犯している宗教組織である」かどうか、というのが、次の論点になります。

「救世軍は養護施設における性的虐待を容認し、かつ、継続的・構造的に意志を持ってその種の犯罪を行っている」のか、どうか、というのが、貴殿の論点であります。

（続く）

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 13 日 17 時 04 分
件 名 ： Re: 救世軍がカルトの件です

（承前）

（１）救世軍における犯罪事件について

小生は、救世軍に身を置いておりますが、寡聞にして、救世軍がそのような「積極犯罪」の方針で活動しているということは、知りません。貴殿の疑念が事実であるとするならば、それは、当該組織内にいる小生に対して完全に隠蔽された形態で行われているもの、とみなさざるを得ません。もちろん、新聞紙上、インターネット上にて救世軍関係者が救世軍の内外にて犯罪事件を起こし、起訴され、裁判を受け、有罪判決を受けた、ということは、目にしたりいたします。これらについては、インターネットや紙面を見る限りにおいて、しかるべき救世軍の担当者が司直の捜査に応じ、法的な責任を果たし、求められた損害

賠償金を支払い、事件への対応にあたっているもののように見受けられます。しかし、その上でなお、救世軍の中に「陰謀的悪事を生業とする裏救世軍」が存在する、などと言われるのであれば、小生は、とてもおいそれとは信じられません。

（２）救世軍に対する情報開示請求について

かくまで貴殿が救世軍を「犯罪組織」と確信しておられるのであれば、貴殿の懸念を晴らす為に小生が出来ますことには、そもそも限度がある、と言わなければなりません。なんとなれば、小生は、救世軍の一部門たる杉並小隊長という「分限」のもとで働いていおり、小生の判断で開示できる情報は、杉並小隊の出納簿、領収証綴込、会計報告書、預貯金通帳に限られておるからであります。

もとより、社会福祉法人救世軍社会福祉事業団の決算公告は、毎年救世軍機関紙『ときのこえ』に掲載されております。また、財団法人在日本救世軍財団及び宗教法人救世軍の財務諸表は、法人本部に備え付けられていて、法律上、正当な理由で閲覧を請求する者に対しては、開示されるものです。小生としましては「２ちゃんねらーのハンドルネーム『昆布』という者が法人の財務諸表を開示せよと要求している」との手紙を一筆法人本部に送る労を惜しむわけではありませんが、小生が思うに、２ちゃんねるにて救世軍をさんざん誹謗中傷した「悪意の第三者」が匿名のまま請求しているから法人本部が「はいはい」と簡単に開示の要求に応えるとは、考えられません。それゆえ、大変お手数ではありますが、貴殿がまず実名と住所をもって情報開示を請求する手紙を法人本部に送られたがよろしいと存じます。その際、小生に貴殿の実名と住所を明かされる必要はありません。また、小生も、法人本部に届いた貴殿の手紙から個人情報を寄越せ、などという要求を法人本部に行ったりはいたしません。その上で、法人本部が開示の請求に応えるなら、それはそれ。開示の請求を拒むなら、それはそれ。一組織人たる小生の権能を越えたことゆえ、クレームをつけられるのであれば、この小生に対してではなく、あくまで法人本部に対して行ってくださるよう、お願い申し上げます。

さらに併せて、救世軍の社会福祉施設を監督する各都道府県の行政府に対して、貴殿の実名と住所をもって質問状を送付されるのが、この問題の最短の近道であろう、と小生は信じます。貴殿は、救世軍の施設の所在地をネット上ですべて調べて、２ちゃんねるにて書き込んでおられましたから、それらのデータから各都道府県の行政府を特定するのは、至極簡単なことと存じます。貴殿の請求に対して、行政府が情報を開示することがあるとすれば、それはそれ。行政府が開示を拒否することがあるとすれば、それはそれ。一市民たる小生の権能を越えたことですから、クレームがさらにあるとすれば、行政不服審査会に対して申し立てるなり、行政裁判を起こされるなりされますよう、お願い申し上げます。

（続く）

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 13 日 17 時 05 分
件 名 ： Re: 救世軍がカルトの件です

（承前）

（３）社会鍋について

さて、社会鍋の献金額についてですが、東京で行われて居ります社会鍋では、前年の社会鍋の収支の大要を記した印刷物を、募金者に対して配布しております。また、東京以外の社会鍋においても、同様の印刷物が配布されているものと信じます。東京のものについて、郵送を希望される場合は、送付先をご連絡ください。

（４）士官の婚姻について

また、士官の婚姻についてですが、これは、士官志願者が本人の自由意志に基

づいて取り結ぶ「誓約書」によって規定された宗教上の約束事項のひとつです。これは、救世軍という宗教団体における「慣習法」であるところの「軍令及び軍律」に規定されております。英国救世軍にて 130 年近く昔に制定され、時代と共に順次改訂されながら、世界 111 の国と地域の救世軍に適用され、東京・水道橋の古書店にても売られている、この「慣習法」が、これまで、国法に照らして違法である、とか、著しく人権に反している、とか、キリスト教古来の「清貧・貞潔・服従」の慣習法に違反する、などとして問題化された件を、小生は寡聞にして知りません。もとより、教職者でない下士官や兵士の結婚が何ら制約なく自由であることは、言うまでもありません。また今日、士官であっても非士官との結婚を希望する場合には、万国本営の許可を得れば、結婚が可能です。海外にてそのような事例があることは、小生も聞いております。

（５）２ちゃんねるについて

さらに、２ちゃんねるでの「２３」の書き込みですが、彼が行っているのは、いわゆる「煽り」のレベルであって、問題はなかろう、と考えます。これに対して「社会鍋資金を流用して『うな重』を食べている」とか「ホームレスへの給食は業者に一食１万で外注している」などという某人の書き込みは、「煽り」のレベルを超えた、冗談にならない問題である、と小生は感じております。

さてまた、小生が２ちゃんねるに書き込みしないことについては、いったい、小生が２ちゃんねるに書き込まないことによって「救世軍が恒常的な犯罪組織だ」と立証する要件になり得るのかどうか。小生には貴殿のお考えが全然理解できません。

（６）スキンシップ発言について

最後に、「スキンシップ」の件については、小生は、いつだれがどういう文脈の中で発言したものなのか、また、その人物がどういう状況に置かれて発言した言葉であるのか、小生は、よく知りません。それゆえ、これについて詳細な情報がありましたら、お寄せくだされば、小生の判断の参考になると存じます。

山谷拝

（終わり）

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 14 日 19 時 44 分
件　名 ： 山谷氏のお立場と救世軍の公式見解を教えてください。

お忙しいところありがとうございます。

> いえいえ。ダビデ張の異端カルト疑惑は、山谷個人の追及である、というのが、小生及び所属教団の「公式見解」です。

公式というのは、どういう公式でしょう？
救世軍はこの問題に関してまったく、関係しないとどちらで公式発表してるのでしょうか？
また、通常は、どんなに関係がないと主張されても救世軍牧師と冠されて名乗る方は救世軍を代表していると社会的には考えるのが普通だと思いますが？
まして、この件に関して他の救世軍の方が関与されている事実を考えれば、救世軍はまったく関係がないというのは単なる責任逃れであり、無責任だと受け取られるのが普通だと思いますが、それについては、救世軍はどのような見解をもってられるのでしょうか？

> この問題に関して、現時点で、宗教法人救世軍が何かの判断をする、ということは、ありません。
>
> さて、小生の個人的な判断から言えば、現状は、「WEA の情報中枢が異端カルトにより占拠されており、危機的情況にある」ということです。
>
> そのような危機感があればこそ、小生は、こうしてブログ等で書いているわ

けです。

WEA が関係することは山谷氏個人にとってなにが問題になるのでしょうか？
山谷氏があくまでも個人として主張されるのであれば、それは CT に対して主張するのではなく、WEA やそれに所属する JEA、なによりも御自分の所属される救世軍に対して主張されるのが筋だと思いますが？

CT がそのような関係にあると危惧していることはわかりますが、組織がどのように運営されているのかは、山谷氏個人とはまったく関係のない話であると考えるのが普通ではないでしょうか？

もし、組織運営に関して物申すのであれば、それは、山谷氏個人の話なのではなく、救世軍牧師としての立場として主張されていると考えるのが普通です。
従って、山谷氏が主張されていることにはまったく論理性が感じられないのですがいかがでしょう？

また、そもそも、山谷氏が、御自分のブログや掲示板上でカルト異端騒ぎをつづける目的はなんなのでしょう？

是非、以上の件をすっきり解決していただけるこのカルト糾弾の動機をお聞かせいただければ幸いです。

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 14 日 19 時 47 分
件　名 ： 救世軍がカルトの件 ◆

> 「救世軍は養護施設における性的虐待を容認し、かつ、継続的・構造的に意志を持ってその種の犯罪を行っている」のか、どうか、というのが、貴殿の論点であります。

それもひとつです。
そして、ご解答いただいたメッセージを読む限り、山谷牧師の元においては、養護施設における「性的虐待の事件は存在しない」という認識でいるということでよろしいのでしょうか？
また、坂井牧師からのメッセージによれば、山谷牧師に養護施設に関する資料をお送りしたという内容が記されてました。それによっても、性的虐待の事実は存在しないのでしょうか？
簡単でよろしいので、是非、ご解答いただければと存じます。

また、救世軍の情報開示についてですが、結局、会談において実現できることは、一般的な開示請求において閲覧できる以上の情報開示はしないという解答と判断してよろしいのでしょうか？

しかも、それは、直接本営に開示請求して疑義があるのならば山谷氏にではなく、直接本営と対応していただくのが早いという解答でよろしいのでしょうか？

まだまだ、ありますが、とりあえず、以上です。
お忙しいとは思いますが、よろしくお願いします。

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 15 日 00 時 02 分
件 名 ： Re: 山谷氏のお立場と救世軍の公式見解を教えてください。

> 公式というのは、どういう公式でしょう？
> 救世軍はこの問題に関してまったく、関係しないとどちらで公式発表してるのでしょうか？

あれ？　『キリスト新聞』の記事、まだ読んでらっしゃらなかったんですか？

> また、通常は、どんなに関係がないと主張されても救世軍牧師と冠されて名乗る方は救世軍を代表していると社会的には考えるのが普通だと思いますが？

小生は、これまでの経験に照らして、ネット上では身分と実名を明らかにする方針を取っています。

以前、「ハリポタ論争」の時には、匿名でネット上で書いていました。しかし、匿名であるにもかかわらず、身分と実名を特定されてしまって、２ちゃんねるに、小生の所属教団を批判するスレが立てられ、執拗かつ陰湿な誹謗中傷が行われました。

その後、「再建主義論争」では、小生は個人名でネット上で書いていました。しかし、相手方は「救世軍は異端の教師である山谷をなぜ免職しないのか？」「異端の教師を留任する救世軍もまた異端である」「山谷の奉じる考えが異端であるから救世軍も異端である」という、所属教団への誹謗中傷が執拗かつ陰湿に行われました。

以上の経験から小生が学んだことは、小生が私人の立場でものを言っても、個人の立場でものを言っても、匿名の立場でものを言っても、結局のところ、相手方は小生を言い負かすために、必ず小生の所属教団を誹謗中傷して来る、ということです。

それゆえ、小生としましては、いつも、つねに、身分と実名を明示して、ものを言う方針とした次第です。

今回､小生は身分と実名を明かしてCT異端疑惑を追及して来ました｡その結果、小生の所属教団が攻撃される事態となっております。

これを小生が匿名で行っていたならば、貴殿は満足されますか？　「匿名では信用できない」「なぜ身分と実名を明かさないのか？」と要求したのではありませんか？　あるいは、匿名の小生を、いろいろな手段で調べ上げて、身分と実名を特定した上で、所属教団のあらさがしをし、誹謗中傷を行ったのではあり

ませんか？

「そんなことはない」と貴殿はおっしゃるか？

しかし、小生の経験に照らせば、そんなことばっかりだったのです。

> まして、この件に関して他の救世軍の方が関与されている事実を考えれば、救世軍はまったく関係がないというのは単なる責任逃れであり、無責任だと受け取られるのが普通だと思いますが、それについては、救世軍はどのような見解をもってられるのでしょうか？

「救世軍はまったく関係がない」というのは事実であり、全然責任逃れではありません。

なぜなら、山谷の CT 異端カルト疑惑追求は、救世軍の業務命令によるものではないからです。しかし、その内容に公益性が認められるため、救世軍としては関与していないが、注視はしております。

今回の件が裁判になり、白黒が決せられれば、その時点で、救世軍は小生に対する何らかの決定を行うはずであります。白黒が決せられていない今の時点で、いかなる「責任云々」の問題がありましょうや？

> WEA が関係することは山谷氏個人にとってなにが問題になるのでしょうか？
> 山谷氏があくまでも個人として主張されるのであれば、それは CT に対して主張するのではなく、WEA やそれに所属する JEA、なによりも御自分の所属される救世軍に対して主張されるのが筋だと思いますが？

JEA は、ダビデ張統一協会前歴疑惑の周知文を、いまだ、解除していません。
JEA の方針に沿っている救世軍もまた、ダビデ張統一教会前歴疑惑の周知文を、いまだ、解除していません。
それゆえ、現状において、小生が、ダビデ張統一教会前歴疑惑について、新たな異端嫌疑の資料も加味しながらブログ上で考察することは、JEA と救世軍の方

針の正当性に一定の根拠があることを確認する作業となります。
その過程において、CT 側が裁判の提訴を予告したため、小生は「法的攻防」として、今日迄ブログでの言論を展開して来ました。JEA はその過程を注視しつつ、WEA 関係者と連絡を取り、WEA が現在の「ダビデ張容認」の方針を再考するよう働きかけております。

> CT がそのような関係にあると危惧していることはわかりますが、組織がどのように運営されているのかは、山谷氏個人とはまったく関係のない話であると考えるのが普通ではないでしょうか？

小生の調査した結論は、CT は異端カルトだ、ということです。しかも、統一教会とつながりのある異端カルト団体です。

このような団体が WEA を占拠する事態となりますと、小生にとっては「信教の自由に関わる重大な問題」となります。なぜなら、小生にとって、キリストとはナザレのイエスただひとりのみであって、それ以外の自称キリストが WEA という連合機関を介して、小生に対する信仰上の指導的立場に就くことは、小生の信仰が全然否定されることを意味するからです。

> もし、組織運営に関して物申すのであれば、それは、山谷氏個人の話なのではなく、救世軍牧師としての立場として主張されていると考えるのが普通です。従って、山谷氏が主張されていることにはまったく論理性が感じられないのですがいかがでしょう？

偽キリストが、キリスト教連合機関を介して、小生の信仰を指導する立場に就く、ということは、小生の「個人」としての信仰が全然否定されることを意味します。また、同じく、ナザレのイエスのみをキリストとする救世軍の「組織」としての信仰が全然否定されることをも意味します。ここに、防衛されるべき共通の利益、「公益性」があります。それはすなわち、信仰です。

小生が個人の立場で行っている CT 異端カルト疑惑の追及について、救世軍は関与していないが、制止はせず、注視しているのは、そのような「公益性」があ

るからです。

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 15 日 21 時 55 分
件 名 ： 会談日程の訂正

先に会談可能な日程をお伝えしていましたが、カレンダーに誤りがありましたので、以下のごとく訂正いたします。

会談可能な日程

1 月 23 日（水）は、午後 2 時から午後 5 時の間なら可。
1 月 24 日（木）は、午後 5 時以降なら可です。

よろしく御調整の程お願い申し上げます。

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 16 日 08 時 31 分
件　名 ： Re: 会談日程の訂正

検討してみます。
先方との兼ね合いもありますので、修正可能かどうか組みなおしてみます。
２・３日お時間下さい。

山谷拝

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 17 日 07 時 11 分
件　名 ： とりあえず、返信に直接解答します。

返信遅れまして申し訳ありません。
今までの流れをまとめて整理する方が重要なのかもしれないとも思いまして、返信あぐねてました。

でもとりあえず、わかりにくいかもしれませんが、バラバラと返答します。

> 論点は、救世軍の養護施設に「性的虐待の事件は存在するか、しないか」ではないはずです。

事件そのものを否認する人が多いための確認です。それ以上の意図はありません。

> 論点は、「救世軍は養護施設における性的虐待を容認し、かつ、継続的・構造的に意志を持ってその種の犯罪を行っているか、いないか」ではありませんか？
> 貴殿の「カルトの定義」に照らして救世軍をカルトだと考えるのなら、上記のごとき論点を考えることになるはずです。

なにがあったのかを明確にしない限り先に進まないので、新聞報道されてることが事実なのかどうか確認するのが普通の流れなのだと思います。

> 資料を読み、また、ネット上の情報を照らし合わせますと、（ア）県庁が聞き取り調査を行い、（イ）救世軍が弁護士による聞き取り調査を行い、さらに、（ウ）第三者による聞き取り調査を行ったが、（エ）性的虐待の有無を確認するに至らなかった。しかし、（オ）告発を受けた職員は退職した。（カ）県庁は、内部告発によって指摘された種々の問題について「改善計画書」を立案提出するよう救世軍に命令し、（キ）救世軍は「改善計画書」を提出して、県庁が了承した。。。ということのようです。
>

> つまり「虐待の有無を確認するに至らなかったが、問題の職員は退職し、虐待の発生を防止する計画を立てるよう県庁が命令し、救世軍がそれを提出して、県庁が了承した」ということです。

虐待の有無がわからないのに、なぜ、職員を退職させる必要があったのでしょう？それこそ、職員に対する人権侵害ですし、立派な犯罪行為としてのカルトだと思いますが？
どちらにしても、第三者の側からみれば、性的虐待の事実を隠蔽しているというただそれだけの事実にしか映らないと思いますし、これに関してはどんなに言い訳しても、逆に証明していることになると私には思えます。

> 県庁や弁護士や第三者が白黒つけられなかった問題について、小生が白黒をつけることを、貴殿は期待しておられますか？

だから、事実がどうであったのかということをお聞きしているわけです。当然、この事件に関する公式見解というのがあるのでしょうし、それについて知る手段があってしかるべきだと考えるのが普通でしょう。

> そのとおりです。一般的な開示請求において閲覧できる以上の情報開示を行う権限は、小生にはありません。もとより、小生が代表取締役社長でも教団総会長でも救世軍司令官でも法人理事長でもないことを、貴殿はご存知でしょう？

もちろんです。ただし、前向きな方向性というのは探ることは可能でしょう？出来る立場での精一杯の前向きな努力というのはそれでも必要ではないでしょうか？もちろん、その必要がないと判断することも重要です。

> もちろん、「分限」の中にある小生が、貴殿の要求のために一筆手紙を書いて本部にかけあうことは出来ます。しかし、悲しいかな、貴殿は匿名の２ちゃんねらーである上に、事実上「悪意の第三者」です。さしたる根拠も無く「救世軍では社会鍋資金を流用して全士官がうな重を常食している」というごとき書き込みを、これまで執拗に繰り返されて来たではありませんか？　それらにつ

いて貴殿が謝罪文を書いた上で、実名と身分と住所を明かすのであれば、小生の介助を通しての情報開示請求は、首尾よく進むかもしれません。
>
> しかし、それは最終的には、法人理事たちの貴殿に対する「心証」で決まることだろうと思います。法人理事たちは、「この人物は、どういう経緯で、この情報開示請求を行うに至ったのか」と質問が出れば、小生としては正直に、２ちゃんねるの過去ログを全部印刷してあるものを提出することになります。それが問題になっても、ならなくても、小生には、いかんともしがたいことです。なぜなら、それらはすべて、貴殿がご自分の本意をお書きになったものだからです。

悪意があるかどうかは、私の判断することではありませんし、正直、公益法人の団体が悪意を問題にすること自体に個人的に疑問を感じます。そもそも、キリスト教は隣人愛を説いているのではないですかね。別に２ちゃんのログを印刷しなくても、山谷牧師個人の見解でいいのでしょうし、見せたくないなら、見せたくないでいいのではないでしょうか？

まあ、どちらにしても、整理する必要はありそうな気がします。
日程の調整を今日中にしますので、その時に、私の会談したい内容をもう一度整理する必要があると思います。お忙しいところをお手数かけて、申し訳ありません。

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 17 日 09 時 09 分
件 名 ： Re: とりあえず、返信に直接解答します。

あることないこと２ちゃんねるに書かれ、救世軍は犯罪組織、異端カルトだ、と言われても、キリスト教の愛の精神ですべて寛容に許すべきである、というのが貴殿のお考えですか？

そうして、寛容に欠くなら、カルトであることの証明になる、と？

山谷拝

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 17 日 09 時 20 分
件 名 ： Re: とりあえず、返信に直接解答します。

なお、面会に先立ち、年内に貴殿の姓名、住所、電話番号を当方へご連絡ください。
その際、貴殿の本人確認をし得るもの（運転免許証または健康保険証または戸籍謄本の写し）をご添付ください。また、２ちゃんねる当該スレにおけるコテハン「昆布」と貴殿とが同一人物であることの自認書をもご添付ください。
上記は、異端カルト問題に関わる安全保障上の措置ですので、よろしくご理解のほどお願い申し上げます。
当方は、貴殿が「CT 工作員」もしくは「CT 工作員の意を受けた者」との疑念をいまだ解消しておりません。

山谷謹白

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 17 日 14 時 14 分
件　名 ： あら、今更なにを・・・・・・・・・・・・・

同じことを CT の人間も、あなたに対して言われてましたが？
あなたは、その根拠を裁判すれば見せると言い、そのついでに、「裁判するのはカルトの証拠だ」と言われてる。
そんなあなたが、奇麗事を言うとはオドロキです。

他人の献金や寄付で飯を食ってないなら、あなたの牧師以外の生活手段を明らかにすればいいじゃないですか(笑

もちろん、そうすれば、あなたの私人としての立場も明確になるでしょうし、納得もするでしょう。

もっと、大人になられた方がいいと思いますよ。

ユキチ→山谷
日　付 ： 2007 年 12 月 17 日 14 時 23 分
件　名 ： それはありえませんね。

あなたがご自分の名前を明らかにしてるのは、あなたの信条によるものでしょうから、その信条に私が従う必要はありません。

というか、いちいち相手を確認しなければならないのなら、２ちゃんで騒ぐことなんかやめた方がいいでしょう。

そもそも、ネットで個人情報らしきものを垂れ流してるようなカルト宗教団体に個人情報を教えるほどに、無用心なことはないでしょう。

あなたがたは、他人批判をする前にご自分達のやられてることを省みられた方がよろしいのでは？

まあ、気にしないのは、カルト団体特有の精神構造ですけどね。
確か、あの会談で唐沢氏も山谷氏もその他大勢の方も述べ照らしたと思います。
自らそのことを実証するとはオドロキです。

救世軍がどういう団体なのか、よくわかりましたよｗ

山谷→ユキチ
日 付 : 2007 年 12 月 18 日 15 時 46 分
件 名 : Re: あら、今更なにを・・・・・・・・・・・・・・

いやいや。CT は小生に対して「山谷がブログを削除しなければ告訴する」と言ったのですよ。

小生と貴殿との関係は、いつからそういう関係になっていましたか？

小生は貴殿に対して「昆布のブログを削除しなければ告訴する」と言ったことがありますか？

ないはずだ。なぜなら、小生は貴殿が開設しているブログを知らないからだ。

してまた、もし仮に貴殿を告訴しようと思っても、小生は貴殿の実名も住所も知らないのだから、そもそも告訴状の書きようがないわけだ。

それゆえ、どうか、この際、貴殿の実名と住所とを小生に対して明らかに示していただきたいものだ。

その上で、小生が貴殿を果たして「２ちゃんねる」の案件で告訴するかどうか、見極められたがよろしい。その結果、貴殿は小生が何者であったかについて、まっとうな判断ができるというものでありましょう。

小生は、「CCK-J 決議文を証拠として提出するのは警察・検察・裁判所だけだ」と何度も申し上げている。

そうして、その理由は、これが CT との法的攻防の最重要カードだからだ、ということも、何度もご説明申し上げて来たはずです。

なぜにこれが最重要カードかと言えば、CCK-J が実際にそのような決議をしていたからであり、対して、「山谷 CCK-J 決議文捏造説」というものが、CT のデッチ上げだということを、小生並びに教界関係者は知っているからです。

これに対して CT 側は「この証拠は山谷には見せられない。どうしても見たいというのであれば、山谷が CT を裁判に訴えなさい」というがごとき発言は、いまだかつて一度もしたことがありません。

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 18 日 16 時 07 分
件 名 ： Re: それはありえませんね。

貴殿は面会の場において、小生に実名及び住所を明らかにする、と言われたではありませんか？

小生に対して開示する意志は持っておられるものと理解しています。

そうであれば、どうして事前に開示してくださることに困難があるのでしょう？

> あなたがご自分の名前を明らかにしてるのは、あなたの信条によるものでしょうから、その信条に私が従う必要はありません。
> というか、いちいち相手を確認しなければならないのなら、２ちゃんで騒ぐことなんかやめた方がいいでしょう。

小生が、今回の件で「実名」を明らかにしてブログを書いているのは、前便にて説明したとおりです。

匿名で書いても、個人の立場で書いても、結局のところ、小生に反対する人間

は、必ず小生の所属教団を攻撃して来るのです。これは、小生の信条というよりも、実際の経験に照らしての合理的判断です。

貴殿も、そろそろ学ばれたがよろしいと思います。

貴殿が本心から「山谷は社会鍋資金を流用して、うな重を毎日食べている」とか「高級マンションに住んでいる」とか「毎晩少女を虐待している」とか思って、救世軍に釈明を要求し、情報の開示を請求されるのであれば、２ちゃんのハンドルネームでは通用しません。

通用しないことをわかっておられるから、わざわざ上京して来られるのでしょう？
そうして、上京して来る、というのは、実際の会談の場で実名と住所を明らかにする覚悟が、すでに決まっておられるからでしょう？

小生は、最初から実名と住所を明らかにして、疑惑の追及を行い、また、実名と住所を明らかにして、高柳氏との会談に臨みました。高柳氏は会社法人の代表責任者として、実名と会社所在地を明らかにして、小生と対峙しました。（もっとも、高柳氏と矢田氏と井出氏は、自分たちのアパートの住所までは明らかにしませんでしたが）

同じことを貴殿に求めるのは、無理でしたですか？

てっきり、貴殿は、高柳山谷会談と同様のことを求めておられるのだとばかり思っていましたが。。。。

山谷→ユキチ
日 付 ： 2007 年 12 月 18 日 21 時 28 分
件 名 ： 「遊び」だったわけですか？

２ちゃんで貴殿が「まあ、ただ単純に面白いから遊んであげてるだけだけどね。マジだとしたら、あまりに痛すぎる話だろう？」と書き込んでおられましたが、これが貴殿の本意ですか？

上記が 2008 年 1 月 4 日現在の最終信である。